



請願書

令和 6 年 11 月 27 日

二本松市議会議員 本多勝実様

二本松年金者の会長 屋田喜久子



紹介議員

平 敏子

二本松市による带状疱疹ワクチン接種助成に関する請願

請願趣旨

常日頃、高齢者の福祉のためのご尽力に、感謝する次第です。
带状疱疹は子どもの時に感染した水疱瘡ウイルスが、体内に潜伏、過労やストレスなどで免疫力が低下した際に、ウイルスが再活性化し発症します。
症状は、水膨れを伴う赤い発疹ができ、強い痛みを伴うことが多く、特に 50 歳代から発症率が高くなり、80 歳までに約 3 人に 1 人が带状疱疹を発症するとされ、治癒した後も痛みが残る（带状疱疹後神経痛）ことがあります。

2024 年、当二本松年金者の会の会員 3 名（79 歳、81 才女性、90 才男性）が罹患し、現在でも後遺症に悩まされています。また、痛みは皮膚症状の 1 週間ほど前に生じ、断続的に「ピリピリ」し、声をあげるほどの痛さで眠れなかった、3 か月間、投薬とベッドでの休養が必要でした。

理由

早期治療が何よりも重要ですが、带状疱疹ワクチン接種で予防ができるとされており、ワクチンには「生ワクチン」（1 回接種、価格は約 1 万円）と「不活化ワクチン」（2 回接種、2 回合計で約 4 万円）の 2 種類があります。免疫の持続性や発症予防効果、副作用に違いがあるようです。一度発症の経験のある方の多くは、不活化ワクチンを選ぶとのことですが高齢者には高額です。

誰でも発症する可能性があることから、全国的にワクチン接種に助成する自治体（多くは費用の半額）が急増しています。本県では本宮市など 8 自治体が助成を開始、全国的に自治体の実施率を見ると、群馬県 100%、つづいて、東京都 97%、栃木県 96% が助成しており、東北では秋田県が 92% です。

請願項目

二本松市による带状疱疹ワクチン接種費用の助成を早急に実施してください。

以上



二本松市による带状疱疹ワクチン接種助成に関する意見書

近年、高齢者の带状疱疹罹患者が増え、その予防が全国的な関心事になっています。

带状疱疹は子どもの時に感染した水疱瘡ウイルスが、体内に潜伏、過労やストレスなどで免疫力が低下した際に、ウイルスが再活性化し発症。

症状は、水膨れを伴う赤い発疹ができ、強い痛みを伴うことが多く、特に 50 歳代から発症率が高くなり、80 歳までに約 3 人に 1 人が带状疱疹を発症するとされ、治癒した後も痛みが残る（带状疱疹後神経痛）ことがあります。

早期治療が何よりも重要ですが、带状疱疹ワクチン接種で予防ができるとされており、ワクチンには「生ワクチン」（1 回接種、価格は約 1 万円）と「不活化ワクチン」（2 回接種、2 回合計で約 4 万円）の 2 種類があり、免疫の持続性や発症予防効果や副作用に違いがあるようです。一度発症の経験のある方の多くは、不活化ワクチンを選ぶとのことですが高齢者には高額です。

誰でも発症する可能性があることから、全国的にワクチン接種に助成する自治体（多くは費用の半額）が急増、47 都府県の自治体の実施率を見ると、群馬県 100%、つづいて、東京都 97%、栃木県 96% が助成しており、東北では秋田県が 92% となっています。

本県では本宮市など 8 自治体が助成を開始しております。

要望事項

二本松市での早急なワクチン接種費用の助成を実施すること。

令和 6 年 12 月 日

二本松市長 三保恵一様

福島県二本松市議会議長
本多勝実